

教育情報誌

「教育と文化」を年3回（7・11・3月）発行し、三河教育への提言、教育随想、三河の文化を訪ねて、学習資料を活用した授業実践、研究発表校紹介等を掲載しています。

公益財団法人愛知教育文化振興会

教育と文化

No.134

令和6年3月



「本物」に触れることの重要性

藤原 隆夫 先生

「本物」に触れることの重要性について、藤原先生は、教育現場で実践されている様々な取り組みを踏まえ、子どもたちが「本物」に触れることで、学びの深まりや、文化の理解が促進されることを述べています。また、学校現場での実践事例も紹介されています。

「本物」に触れることの重要性

藤原 隆夫 先生

「本物」に触れることの重要性について、藤原先生は、教育現場で実践されている様々な取り組みを踏まえ、子どもたちが「本物」に触れることで、学びの深まりや、文化の理解が促進されることを述べています。また、学校現場での実践事例も紹介されています。

Contents	
2 巻頭言 『ていねいに「命」をつむぎ、未来へつなぐ』	10 令和5年度 かきぞめコンクール
3 三河の文化を訪ねて「知立まつりの山車文楽・山車からくり」 豊田中（知立）	12 令和5年度 みかわ彩児展 絵画コンクール
6 教育随想「本物とは、人の心に響く音」 三河太鼓伝 六代目 三浦雅也	14 特色ある教育活動 「本気で考え、語る生徒」の育成を期して 名倉中（豊橋）
7 教室の垣根「自分や他者を尊重し、助け合いに生きる」 豊田中（豊田）	15 学校教育ボランティアグループ活動紹介 山中小（西尾）・亀山小（田原）
8 令和5年度 教育図書出版助成・個人研究助成	16 文庫だより「デジタル視点変革システム」 4月 提供開始

活動紹介 学校教育ボランティアグループ

学校教育ボランティアグループは、地域の教育者や保護者、市民が協力して、学校の教育活動を支える活動です。様々な取り組みを通じて、子どもたちの学びの場を豊かにしています。

活動紹介 学校教育ボランティアグループ

学校教育ボランティアグループは、地域の教育者や保護者、市民が協力して、学校の教育活動を支える活動です。様々な取り組みを通じて、子どもたちの学びの場を豊かにしています。